

常磐地区防災協議会 防災だより (平成27年2月発行)

平素は、地区防災活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。
常磐地区防災活動の1年をご報告いたします。

平成26年度は、「防災意識向上のための啓発活動」を重点方針として、また男女共同参画の観点から役員理事に女性も加わり、活動を推進してまいりました。



[講演会]

〇〇シンポジウム



9月29日(月) NPO法人 四日市男女共同参画研究所 代表理事 坂倉加代子さんを講師にお招きし「防災の取り組みは、男女共同参画の視点で」をテーマに講演会を開催しました。

阪神大震災もこの1月17日で早や20年、東日本大震災は4年目を迎えます。多くの命が失われたこれらの災害を通し、今後予想される災害にどう人命を守ることができるか、各分野で検討されています。過去の防災対策には女性の視点が欠けていたために、避難所生活等での女性たちの様々な体験話を聞く度に、私は口惜しい思いをしていました。内閣府は「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を発表しました。と同時に四日市市は「防災のまちづくり・そして男女共同参画」を掲げ、活動を展開しています。常磐地区においても、この視点に基づいた研修を行い、今後も自助、共助、公助の取り組みを進めていく中、女性の視点を生かした防災対策を実践していきたいと考えています。

記：地区防副会長 飯田 淳子

11月2日(日) 常磐まつりの日に常磐小学校体育館に中部大学の武田邦彦先生をお招きして、「これからの福祉と防災の新しい考え方」をテーマに地区社会福祉協議会、地区防災協議会の共催で講演会を開催しました。当日は小雨で足元の悪い中、約400名の方の参加がありました。武田先生のユーモア、ウィットに富んだ話しに引き込まれ、あっという間の90分でした。

貸し出し用の武田先生講演収録DVDを「まちづくり会議」に置いています。どうぞご利用ください。



[防災訓練]



常磐地区では、田中分団長率いる消防分団の方々に日頃から大変お世話になっています。防災訓練の際には中消防署の方とともに熱心にご指導をいただきました。

9月1日の防災の日を前後して、各自治会ごとに特徴のある訓練が繰り広げられ多くの方が参加されました。

当日は、炊き出し訓練、AEDの実習、消火訓練、担架の作り方、三角巾等、地区の事情に応じた訓練が行われました。

防災は、自分の身は自分で守る「自助」が基本であり、各家庭において水・食料の確保と家族での防災会議の実施等、日頃からの防災・減災への取り組みもお願いいたします。来年度も、より多くの住民の方々が訓練、研修会に参加できるよう計画していきます。

[ブロック別防災会議の開催]

常磐地区の防災組織を8ブロックに分け、それぞれのブロック特有の防災課題を出し合い、今後の施策に生かすために各ブロックで会議を開催しました。

12月16日(火)ブロック代表者会議を開催し、各ブロックが抱える問題点、課題、対策案等を協議しました。各ブロックとも様々な課題が抽出されましたが共通課題は水対策でした。東地区は台風、集中豪雨による河川の氾濫、浸水の問題、西地区は指定避難所への避難路における鹿化川の増水による氾濫等の問題がクローズアップされました。抽出された課題はそれぞれ各ブロック、地区防、市への要望等に分類し、対策を講じていきます

[研修会]



2月19日(木)、海拔0メートル地帯の多い大阪市の防災対策を学ぶため、大阪阿倍野防災センター、津波・高潮センターへの視察研修を企画しました。

昨年に引き続き、常磐地区の他団体との交流を深める機会と捉え、地区社協と共催で実施しました。日頃から地域の活動を支えている人たちと一緒に研修ができ、意義深い一日となりました。

[親子防災教室]



9月3日(水)常磐小、10月10(金)常磐西小学校において、5年生児童を対象に親子防災教室を「四日市市危機管理室」「四日市市消防団常磐分団」の支援を受けて開催しました。

両校とも防災の講話、非常食のアルファ米の炊き出し、防災倉庫の見学等、大変熱心に参加していただきました。常磐西小は、地区防が実施する防災教室は初めてでしたが、児童のみなさんは、私たちの話しにまじめに耳を傾け、また地域の人たちと自分たちがどのように関わりがあるのか理解できたようでした。来年度は、より多くの保護者の参加を期待いたします。

[地域防災教室]

「地域住民の防災啓発活動」推進の一環として中消防署サルビア分団による防災教室「発災時に生き残るための知恵・知識」を開催します。より多くの方に参加していただけるように2月21日～3月14日の間、常磐地区5ヶ所で開催いたします。

また、3月28日(土)には三重県防災コーディネーターによる防災委員・防災隊長対象の避難所(H)運営(U)ゲーム(G)の勉強会を開催します。HUGは静岡県で開発された手法で、大規模災害時の避難所運営の体験的学習ゲームです。今後地域のみなさん、各種団体のみなさん、学校と連携して、大勢の人に参加していただけるよう普及活動を進めたいと考えています。

[防災資機材購入補助事業]

平成26年度の各自治会における防災資機材の購入が行われました。地区防の今年度の防災資機材購入補助率は50%に決定しましたので、平成27年1月末に各自治会に合計約120万円を支出しました。



《お問い合わせは「常磐まちづくり会議事務局へ TEL059-352-1852》